



ロータリー：変化をもたらす
RI会長 イアン H.S.ライズ



2017-2018年

Rotary District 2640 Japan
海南東ロータリークラブ
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

会長 中西 秀文 幹事 阪口 洋一 SAA : 前田 克仁

第 1936 回例会 平成 29 年 12 月 4 日(月)

18:30～ 割烹 美登利
年次総会

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱 「君が代」
3. ロータリーソング 「奉仕の理想」
4. 出席報告
会員総数 41 名 出席者数 31 名
出席率 75.61 % 前回修正出席率 48.78 %

5. 会長スピーチ 会長 中西 秀文 君

皆さん、今晚は。今日は特に寒いですが、体調には十分注意して下さい。

早いもので今夜は本年最後の夜間例会であつという間に残すは約半年になりましたが、会長として楽しい時間を会員の皆様と共有したいと思っておりますので今後とも会員の皆様のご協力よろしくお願い致します。

後ほど、恒例の会員誕生・結婚・奥様・旦那様のお祝いをしたいと思います。また、年次総会も合わせて順次とり行いたいと思います。今夜も会員の皆様に楽しい時間を過ごしてほしいのと、どうかあと半年、お付き合いのほどよろしくお願い致します。



6. 幹事報告 幹事 阪口 洋一 君

○例会臨時変更のお知らせ

海南RC 12月27日(水) → 12月23日(土)
18:30～ 和歌山マリーナシティホテル
(クリスマス家族例会)

海南西RC 1月11日(木) → 1月13日(土)
和歌山マリーナシティホテル
(26周年記念・新年家族例会)

○例会休会のお知らせ

海南RC 12月20日(水) 1月3日(水)

7. 年次総会 会長 中西 秀文 君
年次総会を開催したいと思います。皆さんご協力の程よろしくお願い致します。

海南東ロータリークラブ定款第6条第2節および細則第5条第1節により「本クラブの年次総会は毎年12月の第1例会に開催されるものとする。そして、この年次総会において次年度の役員及び理事の選挙を行わなければならない」となっております。

手順に従い行いたいと存じます。

細則第3節「会員総数の3分の1をもって本クラブの年次総会および例会の定足数とする」という規定でありますので、本年次総会は有効となり、満場一致で選出されました。

次年度(2018年7月～2019年6月)役員予定者

会長エレクト	山畑 弥生
会長バニー	寺下 卓
副会長	大江 久夫 (クラブ奉仕委員長)
直前会長	中西 秀文
幹事	中村 俊之
会計	村田 宏之
SAA	田岡 郁俊
理事	倉橋 利徳 (社会奉仕委員長)
理事	寺下 卓 (国際奉仕委員長)
理事	赤松 昭二 (親睦活動委員長)
理事	桑添 剛 (職業奉仕委員長)
理事	深谷 政男 (プログラム委員長)
理事	田中 祥秀 (青少年奉仕委員長)

山畑 弥生 会長エレクト

次年度の役員が決まりました。全員で力を合わせ、クラブのため、一生懸命、取り組んでまいりたいと思います。皆さんのご協力をお願いいたします。



四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深められるか
- ④ みんなのためになるかどうか



Rotary

事務所 〒642-0002
海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

8. 閉会点鐘

次回例会

第 1937 回 平成 29 年 12 月 11 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

ゲスト卓話 パストガバナー 辻 秀和 様



ニコニコ・BOX



Happy birthday!

12 月のお祝い



☺ 会員誕生日

9 日 阪口 洋一 君 16 日 田岡 郁敏 君
17 日 寺下 卓 君

☺ 奥様・旦那様誕生日

2 日 清水 若 様 21 日 重光 りえ 様
23 日 宇恵 恭子 様 27 日 中西 尚子 様

☺ 結婚記念日

6 日 前田 克仁 君



☺ 一般ニコニコ

谷脇 良樹 君 次年度、役員の方皆さん。頑張ってください。

(次年度理事役員)

山畑 弥生 君 次年度、よろしくお祈りします。
中西 秀文 君 //
寺下 卓 君 //
大江 久夫 君 //
中村 俊之 君 //
田岡 郁敏 君 //
倉橋 敏徳 君 //
赤松 昭二 君 //
桑添 剛 君 //



族を養うために農業を諦めるほかなかったためです。「244 メートルの深さの井戸でも水を得るのが困難だった」と、村の老人ゴバーダンさんは言います。「灌漑用水をモンスーンの水だけに頼っていたら、水不足になり、若者も仕事を求めて大都市へ行ってしまいました」今では、ロータリーの水プロジェクトのおかげで農業が再び黒字となり、若者が村に戻ってきました。砂防ダムをつくり、地面に浸透した雨水が流れ出さないようにすることで収穫が可能になりました。

農家は、この水を利用して井戸の水を確保します。砂防ダムは、一般的なダムのように川をせき止めるものとは異なり、貴重な雨水の流出を防ぐためのものです。「以前の村は年寄りだけでしたが、今は若い人たちが戻ってきました」と、プロジェクト受益者の一人となったゴバーダンさんは話します。

Rotary India Water Conservation Trust (ロータリー・インド水保全トラスト) は、PHD 農村開発財団と協力し、2005 年から 2017 年の間に 82 の砂防ダムを建設。これによって、250,000 人を超える地域住民に恩恵をもたらしました。この活動では、ロータリー財団管理委員で、上記トラストの名誉会長を務めるスシル・グブタ氏を中心となってプログラムを推進しました。侵食を防ぐダムの高さは 4.3 メートル、基盤の深さは 2.1 メートルです。その集水域は 3~7 キロに渡ります。



ダムの落成式

近くの丘から水が集水域へと流れ、そこで約 6~8 カ月留まります。水がひくと泥と豊かな鉱物が残るため、次のモンスーンが始まる前にもう一回収穫でき、現金収入を得ることが可能になりました。これらのうち 20 カ所のダムでは常に水が蓄えられており、魚もとることができます。

ゴバーダンさんは、誇らしげに周辺の緑を指差します。「水が不足していた時は、粟と少しの小麦しか生産できませんでした。今では粟、小麦、野菜(オクラ・トマト・緑の唐辛子など)が収穫できます。井戸の水位も 2.4 メートルほど高くなりました」

砂防ダムは村人が責任をもって管理しています。また、それぞれのダムを監督する委員会が設置され、維持費となる資金も銀行で管理しています。

「ある委員会では、ダムの幅を拡張する計画を立てている」と、地元の Indraprastha-Okhla ロータリークラブ会員で、水保全トラストのプロジェクト責任者をしているアツル・デブさんは話します。「緑があることから分かるように、砂防ダムのおかげで動物、鳥、植物も生きることができるようになりました」

Rotary NEWS

ロータリーの水プロジェクト インド ラジャスタン州



砂漠を緑に

少し前まで、ラジャスタン州(インド)のシカー地区、アルワ地区の若者は、仕事を求めて都会に出ていました。降雨量が不安定なため農業用水が不足し、家

12月 は 疾病予防と治療月間です